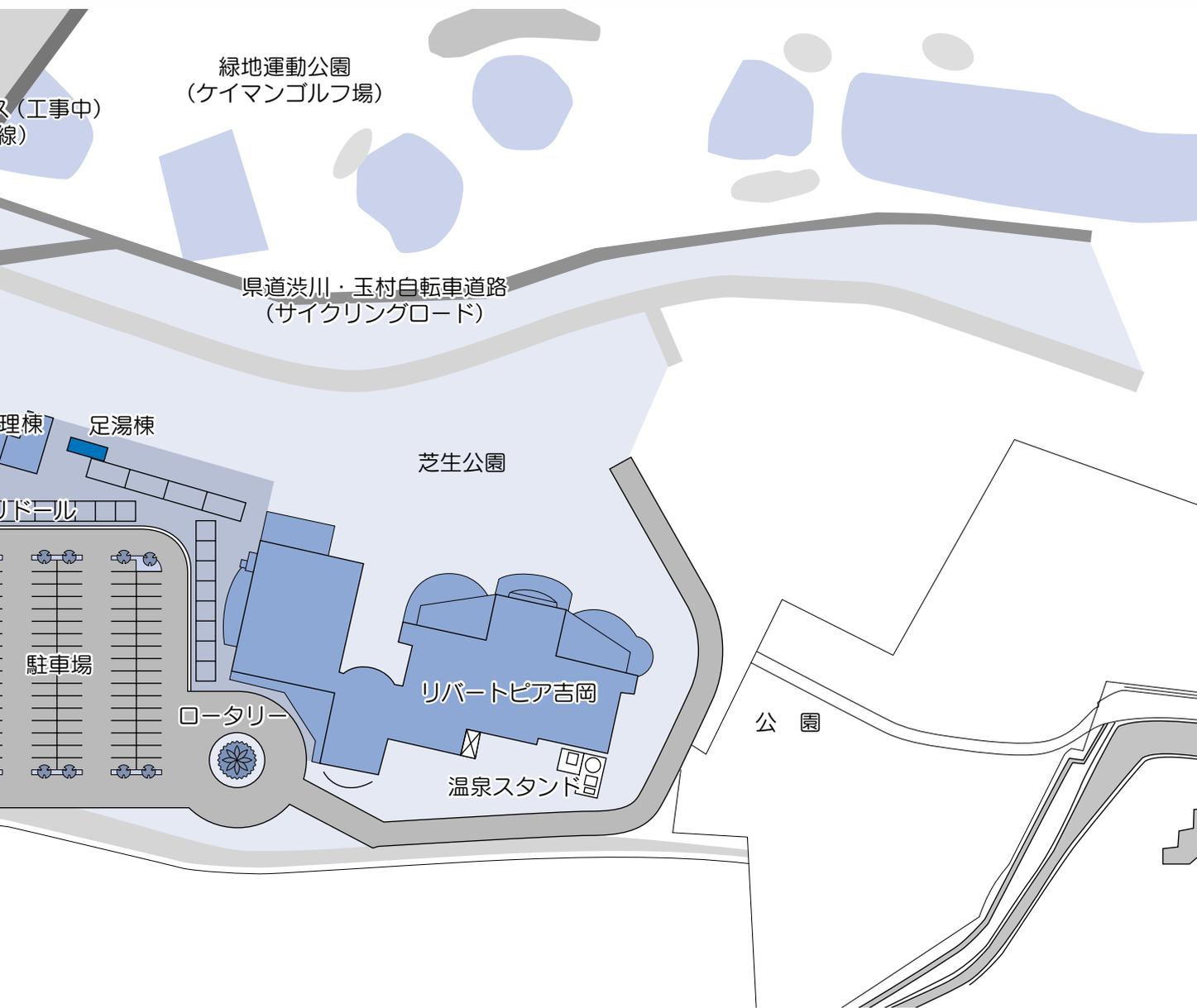


# 1に「道の駅」構想

## 「シユ機能を備えた情報発信基地」



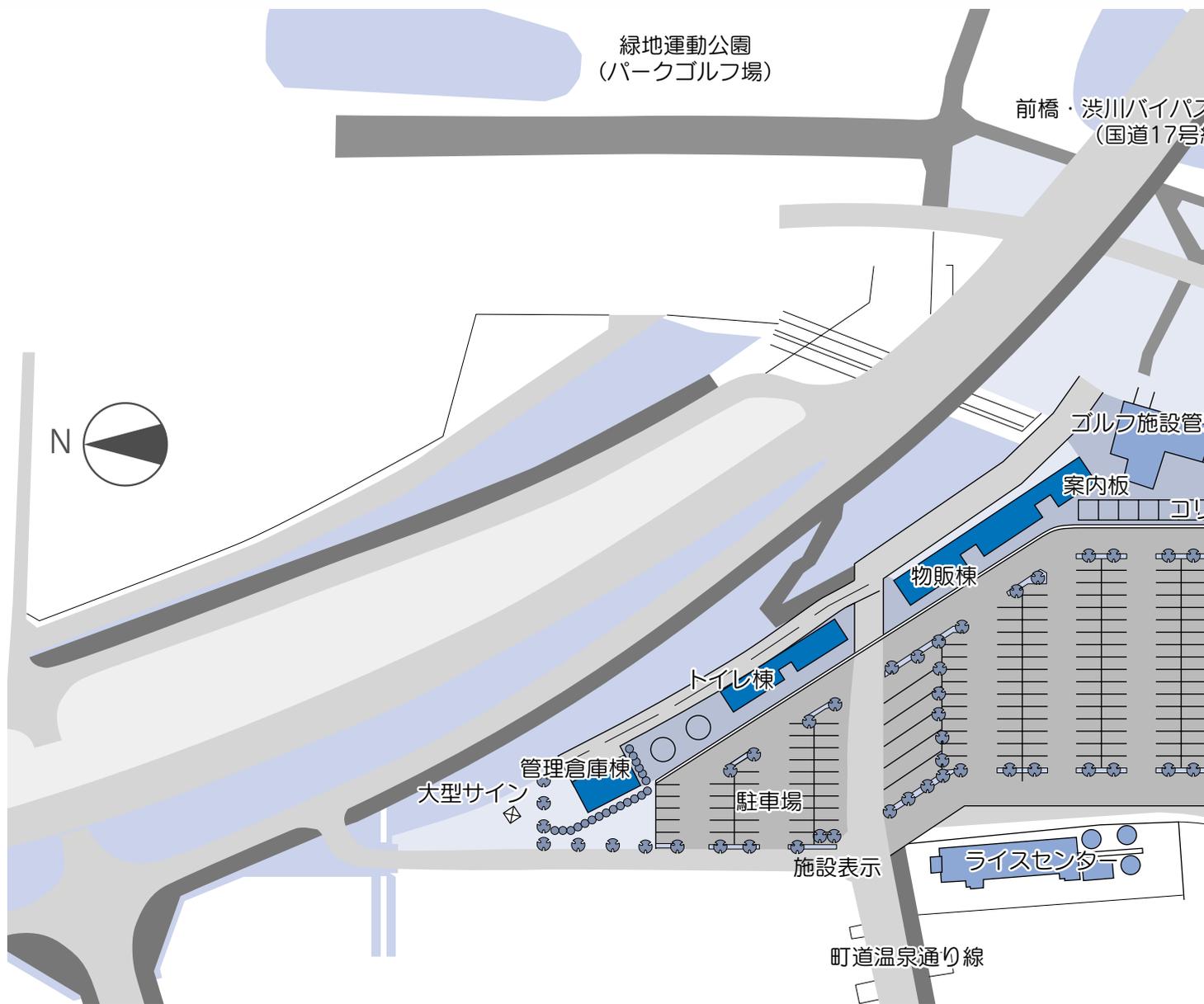
吉岡町の地域活性化を進める「道の駅」は、第4次総合計画に掲げられており、前橋・渋川バイパス（国道17号線）の開通に合わせてオープンするため、昨年8月に道の駅整備検討委員会・整備検討部会を設立し、位置、規模、運営方法などの検討を重ね、このたび構想案がまとまりました。建設場所については、よしおか温泉”リバートピア吉岡“に併設した駐車場およびクラブハウスを含めた区域で、本年4月には、地権者の皆さまにご理解をいただき、事業を推進する運びとなりました。

本事業は、衰退する農林水産業の活性化、通行者の安心・安全の確保および地域振興を促進することを目的に計画されたものです。農業をめぐる環境は、年々厳しい状況になっております。「道の駅」は、地域交流、地域文化、観光などの分野との連携を深め、地域農業の発展を見出すことができ、併せて町内全域の活性化に結びつくことを確信しております。

付近に建設されている前橋・

# 前橋・渋川バイパス（国道17号線）沿し

## “よしおかの産業振興とリフレッシュ”



渋川バイパスや駒寄PAスマー  
トインターチェンジの本格的な  
運用が開始されたことにより、  
この一帯は交通の要衝地となる  
ことが想定されます。

また、この地は、よしおか温  
泉”リバートピア吉岡“や緑地  
運動公園が隣接しているので、  
次の三つの機能を備えた吉岡町  
ならではの「道の駅」を計画し  
ております。

- 1 地域産業振興・地域連携  
機能を持った施設
- 2 リフレッシュ機能を持っ  
た施設
- 3 情報集積・発信機能を持  
った施設

計画は、平成20年度に測量、  
基本計画を行い、平成21年度に  
物産館を建設し、「道の駅」の  
登録を済ませて、前橋・渋川バ  
イパスの開通に合わせ、平成22  
年4月1日に暫定オープンを目  
指しております。

その後、二期工事として駐車  
場および歩行者専用通路などを  
整備して全体を完成させる計画  
です。